

令和 8 年 2 月 20 日 (金)

特別号

調布市立第四中学校

校長 佐藤 政彦

学校だより



四つ葉

HP : <http://www.chofu-schools.jp/chofu4/>

令和 7 年度 学校評価アンケート 集計結果



*10/22 に行われた「開校 60 周年記念式典」の様子

令和7年度学校評価アンケート結果（生徒&保護者 経年比較）

ご協力ありがとうございました。アンケート結果の分析については、各項目を昨年度と比較し経年変化で分析しています。
 ＊アンケート回答数：R7年度 保護者 179名 51.1%、生徒 299名 87% （R6年度 保護者 233名 65%、生徒 316名 89%）

アンケートの回答項目：①よくあてはまる②ややあてはまる③ややあてはまらない④まったくあてはまらない⑤わからない

項目1～3、5は生徒 4は保護者の回答数値です。

<R6年度 生徒の回答>

肯定的な意見

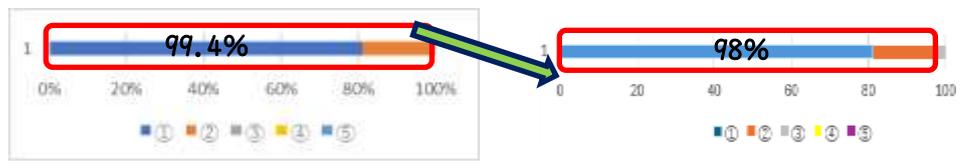
<R7年度 生徒の回答>

1 豊かな心（徳）
 道徳科等で考えたことを自分や家庭で深められたか



今年度は、毎週行う「特別の教科 道徳」の授業に力を入れると同時に、4月の調布市防災教育の日や12月の道徳授業地区公開講座において東日本大震災に被災された方々を講師にお招きし、“生命の尊重”に関する講演会を実施しました。昨年度に比べて0.8ポイントですが、2年連続で上昇しました。ぜひご家庭でもその都度話題にして頂けると、より考えが深まります。

1 豊かな心（徳）
 いじめや暴力がいけないことを理解し、いじめや暴力をしないよう行動しているか



学校経営計画にある通り、「さわやかで熱い四中」をスローガンに魅力ある学校づくりをおこなってきました。今年度は東京都の居心地プロジェクトの活動もあり、いじめは絶対に許さないという風土が定着してきました。数値は1.4ポイント下がりましたが、今後も100%を目指して安全で安心な学校づくりに取り組んでいきます。

1 豊かな心（徳）
 学校で実施した体験活動を通して、見聞を広め、自然や文化に親しむことができたか



数値としては2ポイント上昇しました。1年生は2/16～18にスキー移動教室を、2年生は2/6に都内巡りとなる校外学習をそれぞれ計画しています。そのような行事前でのアンケート実施でも、9割以上の生徒が肯定的に受け取っていることを踏まえ、次年度以降もよりよい体験活動ができるように教育活動を計画していきます。

2 確かな学力（知）
 家庭学習の習慣が身に付いているか



昨年度に比べて1.3ポイント減少しました。数値そのものが昨年と同様に低い傾向にあり、さらに減少していることを踏まえ、学校としては、次年度以降も家庭学習の重要性を生徒に説きつつ、同時に教科による宿題などの有無、量などももう一度確認・検討していきます。日々の継続的な学習の積み重ねの重要性を話し合うなど、ご家庭でもご協力のほどお願いします。

2 確かな学力（知）
 授業に主体的に取り組み、他者と協力して考えを深めるような学習ができているか



昨年度に比べて、1.4ポイント上昇しました。協働的な学びを取り入れるなど教員の授業改善を繰り返すことで、主体的・対話的で深い学びとなるよう授業実践を行っています。教職員一同、次年度も継続して教材開発をしていき、生徒にとってより深い学びとなるよう日々授業改善を進めていきます。

2 確かな学力（知）
 モバイル端末を活用して学習をしているか



昨年度に比べて3.8ポイント減少しました。個別最適な学び・協働的な学びを一体的に進めるためには必要不可欠なICTですが、残念ながら一昨年度と同様のポイントとなりました。改めて、ICT推進担当やICT支援員と連携を図りながら、各教科等において、モバイル端末を活用した授業改善を目指していきます。ご家庭では情報モラルについて話し合っていると有難いです。

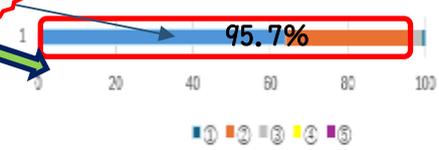
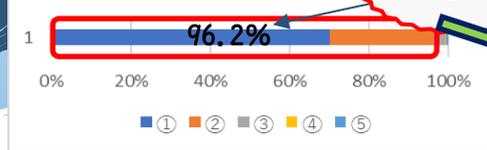
<R6年度 生徒の回答>

肯定的な意見

<R7年度 生徒の回答>

3 健やかな体 (体)

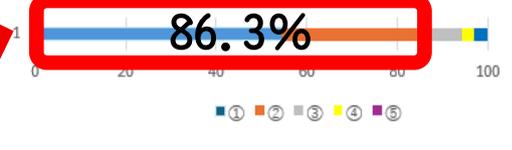
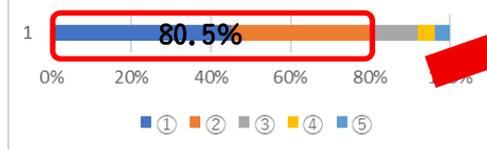
避難訓練、安全指導について、家庭で話したり、自分のこととして考えたりしたか



昨年度に比べて0.5ポイント減少しました。昨年度に引き続き、毎月の避難訓練や安全指導などを実施しています。「調布市防災教育の日」なども利用して、ぜひご家庭でも積極的に話題にいただき、考えを深められるような機会としてください。学校としても、いつ起こるかわからない災害ですが、自分事として考えられるよう日々取り組んでいきます。

3 健やかな体 (体)

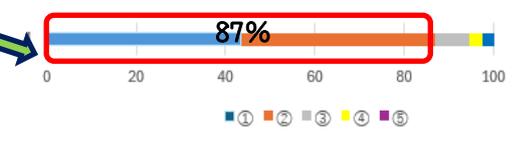
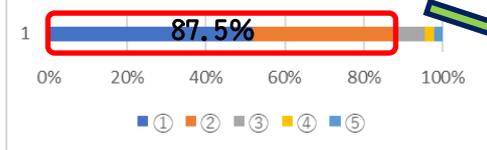
困ったときには誰かに相談することができているか



昨年度に比べて5.8ポイントと大きく数値が上昇しました。一昨年度に比べると、約10ポイント近い上昇です。これまで、様々な手段を用いて、スクールカウンセラーや関係諸機関との連携、相談しやすい環境づくりをおこなってきました。次年度も続く、都の居心地プロジェクトとも連携しながら、誰にとっても安心安全な居場所である学校づくりを目指していきます。

3 健やかな体 (体)

食に関する授業について、家庭で話したり、考えたりすること(関心の高まり)があったか



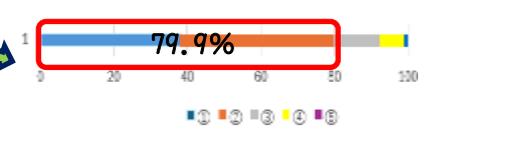
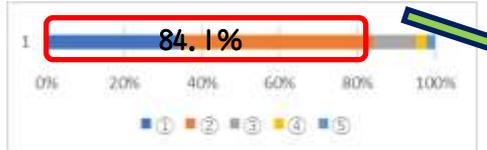
昨年度に比べて0.5ポイント減少しました。“食”への関心を高めるためには学校給食だけでは難しい部分もあります。祭事など、日本の伝統文化に合わせた取り組みもしていますので、ぜひ、ホームページに掲載されている毎月発行の給食だよりや献立表を活用して、ご家庭内でもお話し頂けると嬉しいです。ご協力お願いします。

<R6年度 保護者の回答>

<R7年度 保護者の回答>

4 保護者・地域との連携

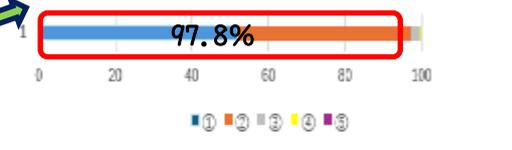
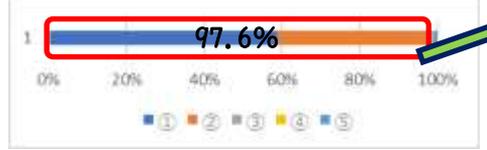
学校だよりを始めとする各種便りについて、学校の活動を知る上で役立っていたか



昨年度に比べて4.2ポイント減少しました。各種便りを通して学校の活動を紹介する上で十分な内容であるか、改めて検討していきます。同時に、ホームページにも生徒の活動の様子を一部ではありますが、載せています。学校公開などもしておりますので、ぜひ学校の活動にこれまで以上に興味をもっていただき、ご家庭と一緒に教育活動を行っていただければと思います。

4 保護者・地域との連携

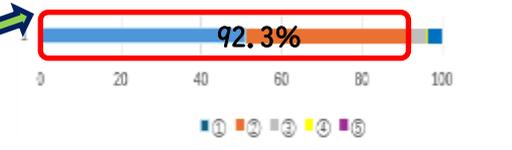
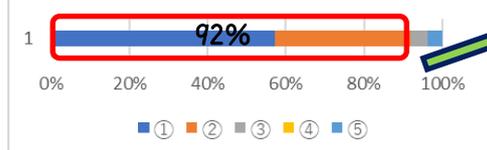
学校のホームページ、すぐるは役立っていたか



過去2年間と同様高い数値となりました。「ホームページ」や「すぐる」を効果的に活用し、学校の様子・情報を適切にご家庭に届けられていると判断しています。来年度も引き続き必要な情報を適切なタイミングで発信していけるよう取り組んでいきます。別途ご案内をしますが、年度当初に全家庭改めてすぐるの再登録となりますので、改めてご登録をお願いします。

5 社会の一員として

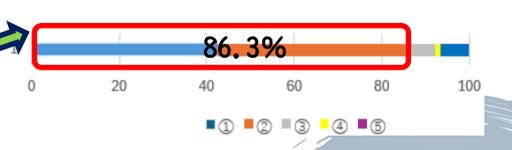
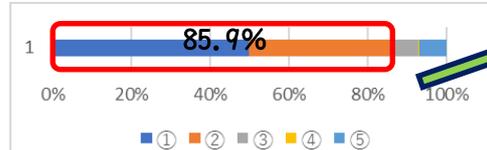
ルールやマナーを守ること、働くことや社会に貢献することの大切さを理解しているか



昨年度から0.3ポイント上昇しました。今年度からコミュニティスクールとなりました。これまで以上に地域と連携し、信頼・協力関係を築きながら、職場体験や福祉体験、地域清掃、あいさつ運動等の活動を通して、次年度も地域に開かれた愛される学校を目指して取り組んでいきます。引き続きよろしくお願いします。

5 社会の一員として

「ボランティアマインド」「障がい者理解」「豊かな国際感覚」を理解し、社会に参画しようとしているか



昨年度に比べて0.4ポイント上昇しました。昨年度に引き続き、1年生の障がい者理解教育(車いす等福祉体験)や3年生の和服着付け体験などの教育活動を通して、今後も社会に参画する生徒の育成を目指します。学校経営方針にあるオリンピック・パラリンピック教育の『学校2020レガシー』として、これまで以上に育成を図っていきます。

<自由記述> 自由意見として頂いた内容です。貴重なご意見をありがとうございます。

- 1 生徒の「情報処理・学習」のタイプ（反復による定着型・探求調査型・対話型・身体表現型等々）に応じて、選択式の課題設定があるほうが教育効果が出ると思う。教員がデジタルで課題を設定し、課題の期限・提出状況や指示詳細が一覧で確認できるようなデジタルでのタスク管理体制を整えて欲しい。社会に出たら、口頭での指示や紙へのメモはあり得ないので、今のうちから社会で通用するデジタルでのタスク管理に学校も切り替えるべき。
⇒ 学習の仕方については、授業者や教科、単元によっても様々な活動があるため、一概に良し悪しは言えません。学習効果としてどこまで高められているかについては数値化できない部分もありますので、参考までに令和7年度4月に行われた全国学力調査の結果をお伝えします。
*令和7年度全国学力・学習状況調査の正答率比較（第3学年対象）
国語：61%（本校）57%（東京都）54.3%（全国）、数学：53%（本校）53%（東京都）48.3%（全国）
理科：48%（本校）48%（東京都）48%（全国） 他教科の調査はありません。
次年度から生徒が使用する端末が変更になります。改めて、モバイル端末の活用や授業づくりの在り方について、今後もよりよい方向へ検討を進めていく必要があると痛感しています。学校に対する叱咤激励という意味で前向きに捉え、生徒にとってよりよい学びとなるよう取り組んでいきます。
- 2 給食のおかずが少ないといつも聞いています。物価高の中で大変だとは思いますが、体も大きくなってきている中で、白米でお腹いっぱいにするのはかわいそうに感じます。
⇒ 要望として上げさせていただきます。引き続き、栄養バランスを考慮しながら、安心安全で美味しい給食の提供を目指していきます。
- 3 保護者会など保護者が参加する学校行事について、特に一方的に説明を聞く場に関してはオンラインでの開催を強く希望いたします。
⇒ 対面を基本として、双方向の対話や質問がしやすい場となるよう努めていきます。
- 4 体育の学習において、男女一緒に行っておりますが、特に球技など力の男女差が激しいものに関しては、別にして頂きたいと思います。試合での怪我もありますし、男子の迫力に負けて参加もできない子も多いと聞きました。
⇒ 「生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けた重要な学習の機会」と学習指導要領で位置づけられています。体力や技能、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有する視点を大切にしつつ、一方で安全面での配慮も行いながらこれまで以上に種目や単元などにおいて授業の在り方を検討していきます。
- 5 随分後からプリントを見るのが多く、すぐーるでプリントのpdf配布をしていただけると助かります。またすぐーるを欠席、遅刻、早退連絡に使ってほしいです。
⇒ 学校行事等全体に関わるようなものは原則すぐーるでも配信しておりますが、クラスや教科等細かな部分においてはお子様を通じてプリント配布としています。今一度、お子様ともお話をさせていただくと助かります。また、すぐーるは双方向ツールではなく、市が契約するアプリ・ソフトで変わるため、学校ではお答えしかねる部分です。ご理解ください。
- 6 給食だよりに関わらず、HPにUPした内容を、例えば、給食だよりをUPしました、と一言配信して頂けると助かります。
⇒ 学校だよりのHP更新については、すぐーる配信をしています。給食だよりは、少なくとも当月末に次月のものが更新されますので、そちらを定期的ご確認いただくと幸いです。様々な内容のすぐーるがたくさん配信されることについて、送られる内容を精査してほしいという声も多くいただきますので、併せてご理解いただくと嬉しいです。
- 7 何故記名が必要なのでしょうか。
⇒ 内容によっては個別に対応させていただく事案もございます。そういったお声に迅速に対応するためのものとお考え下さい。また、記名とすることで、不利益になることや目的以外に使うことはありませんので、ご理解いただくと助かります。

アンケートのご回答にご協力いただきまして、ありがとうございます。この場を借りてお礼を申し上げます。

今年度は、51%と約半数のご家庭によるご回答にとどまってしまいました。次年度は、より多くのご家庭にご協力をお願いいたします。（目標回答率80%）

今後とも本校の教育活動にご理解ご協力をよろしく申し上げます。